

アンリツ株式会社 事業説明会

2025年12月4日



東証 プライム
証券コード：6754
<https://www.anritsu.com>

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目 次

1. PQA事業
2. 環境計測事業
3. 通信計測事業

1. PQA事業

村田 勲一

アンリツ株式会社

執行役員 PQA事業グループプレジデント

PQA(Product Quality Assurance)とは、

「食品や医薬品の品質保証」

を社会にお届けするビジネス

毎日口にする食品の「**安全と安心**」は、誰しもの願いです。

安全安心を保証するために、食品や医薬品の生産ラインでは異物を混入させないための検査、包装された品物の内容量検査、割れや欠けなどの外観検査など、多種多様な品質検査が行われています。

アンリツのPQA製品は、これらの検査を確実にこなすことで、**お客様の製品の品質保証をサポート**しています。

PQAセグメント 2026年3月期（4-9月）の状況

➡ 食品市場：米国の関税政策の不透明感がやわらぎ市場は安定軌道に復帰。
物価と人件費の上昇に対し、食品企業各社は値上げで対処。
顧客の業績は回復も、設備投資には慎重な姿勢が見受けられる。

日本	旺盛なインバウンド需要と改正計量法の特需で好調。 顧客工場の建設遅れや他社製前後装置の納入遅れの影響による納期の延伸が増加。
アジア	中国は景気の低迷を受け低調。韓国およびアセアン市場は堅調。
米州	4月の様子見状態を脱し、相互関税発表以前の状態に回復。 9月Pack Expo展に新製品「XR76」を出展。
EMEA	円安の追い風もあり、欧州市場での販売が堅調。

➡ 医薬品市場：インド、米国での販売が堅調。
カプセル用重量選別機など医薬品に特化した検査機で市場開拓中。

1-3. 市場の成長機会

市場成長機会

医薬品市場

日本・北米・中国
インド

市場ドライバー

安全への高い関心
新興国の医療改善
高齢者人口の増加

食品：先進諸国市場

欧米・日本・中国

市場ドライバー

食品ロス削減・省エネ
ブランドリスク増大
労働人口の減少・少子化

食品：新興国市場

東南アジア・インド
・中南米

市場ドライバー

労働人口の増加、経済発展

機会4. 医薬品需要の拡大、検査の高度化

- ・ 医薬品用検査ソリューションの開発
- ・ 北米/中国/インド市場の開拓・深耕

医薬品の高度化
多様化

機会3. 人手に頼っている検査の自動化

- ・ 包装不良検査
- ・ 官能検査

品質検査/品質保証の
高度化

機会1. グローバル市場の 検査機需要拡大

- ・ 北米事業の強化、欧州での事業体制構築
- ・ 各地域市場のニーズにマッチする商品の実現

機会2. 自動化/省人化ソリューション

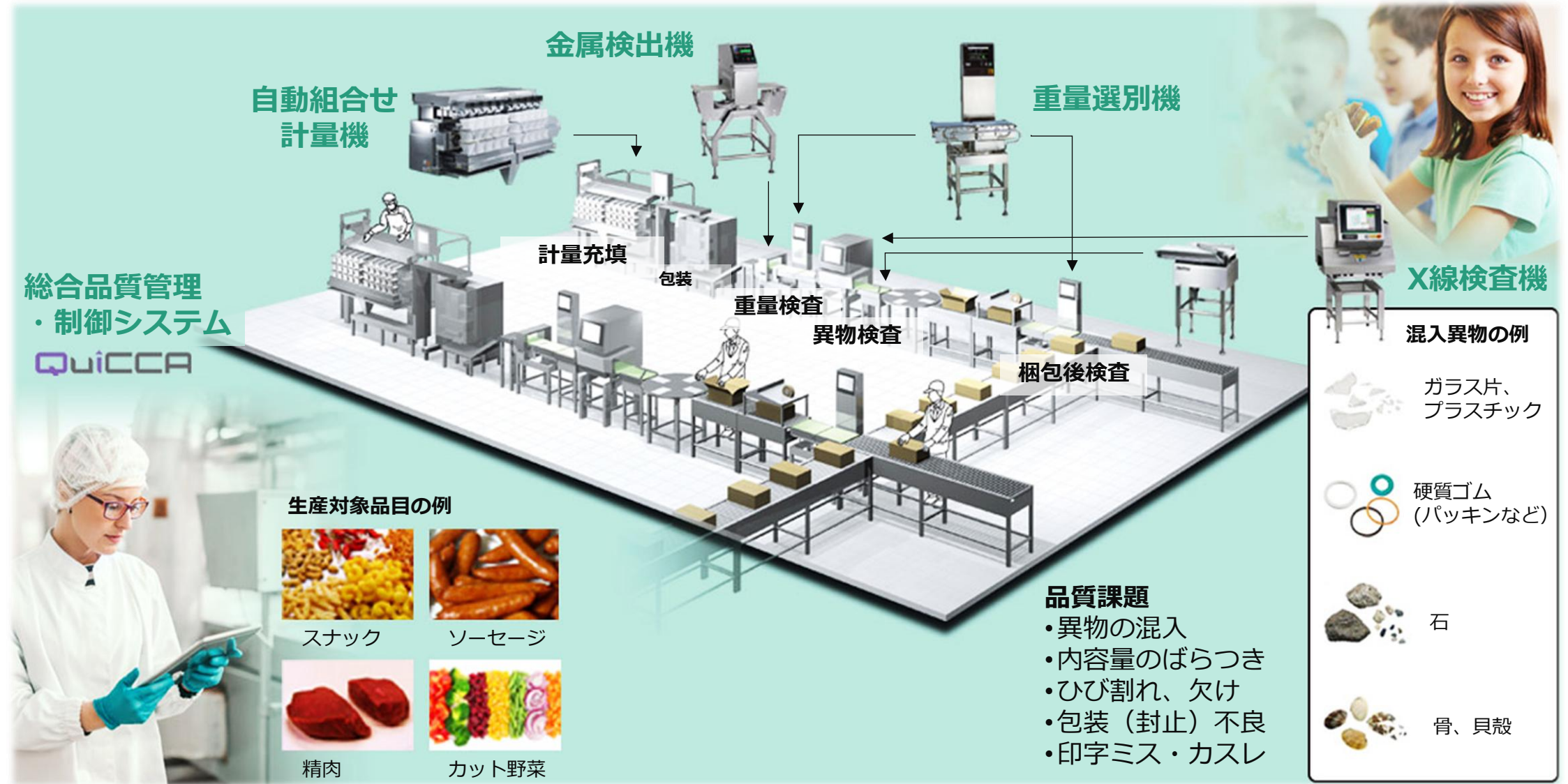
- ・ 原料工程など前段での不良因子の排除
- ・ リモート保守（寿命予測・故障診断）

東南アジア、インド、
中南米市場の成長

年度

1-4. 食品製造ラインでの導入イメージ

PQAの検査機は食品製造ラインの一部となり、異物の混入や内容量のばらつきなど生産工程で起こりうる品質不良を、インラインで全数検査することで、お客様の品質保証をサポートしています。



省力化と品質管理強化を両立する「XR76 シリーズ」新型X線検査機

検査設定や誤検出品の再検査に多くの人手を必要としている食品検査市場に最新鋭のセンシング技術の搭載と操作性の向上を図った「XR76シリーズ」を投入することで売上拡大を目指す



■ 特長

- 商品をコンベアに一回流すだけで、検査設定が完了
- スマートフォンのような直感操作性
- 誤検出率を従来比1/7に低減。再検査の手間を削減し、歩留まりも改善
- 従来比で最高40%の検出感度向上
- 高速ラインでも安定検査
- 長寿命化によるダウンタイムの低減

■ 対象顧客

食肉加工メーカー、菓子メーカー、総菜メーカー、冷凍食品メーカーなど

人の嗅覚により行われてきた官能試験に対応、主観を数値化

においの情報化・可視化により、検査業務における被検査品の比較・合否判断をサポート
質の高い生産の維持、生産工程の検査員の負荷軽減、人員不足の解消に貢献

■ 特長

- ・ 最大で6サンプルを3分で測定
- ・ 付属のソフトウェアで効率的に自動測定
- ・ AIによる解析で分別し類似度を判定

■ 対象市場

研究開発：飲料や酒類のにおいによる分類

食品製造：スパイスなど香りの管理、日本酒の発酵度合い

品質管理：出荷後に寄せられた製品の異臭についての調査補助



Anritsu
Advancing beyond

130th
Anniversary

カプセル製造工程

落下型
金属検出機

錠剤・カプセル用
金属検出機

カプセル用
重量選別機

カプセル用オートチェッカ(空カプセル用)

カプセル充填機

カプセル・錠剤用金属検出機

カプセル用オートチェッカ(実装カプセル用)

外観検査機

PTP包装機

カートナー

重量選別機

ピロー包装機

集積・バンディング機

X線検査機

X線検査機

GS1捺印・検査機能付オートチェッカ

捺印・印字検査機能付き
重量選別機

カートナー集積機

ケーサー

集合包装品用オートチェッカ

パレタイザー

ストレッチ包装機

重量選別機

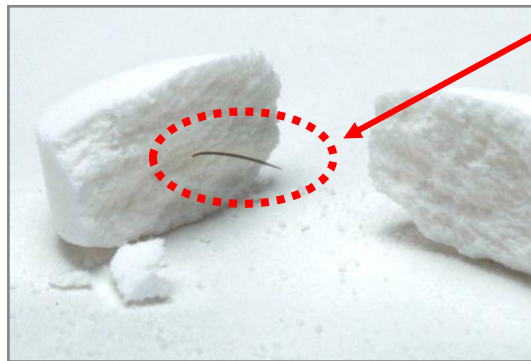
1-8. 製品紹介：錠剤の成分量を全数検査するNIR検査装置

NIR錠剤検査装置

NIR吸収スペクトル測定法により、錠剤内部を全数（25万錠/時）透過測定します。生產品質のコントロールや、スケールアップ時のプロセス評価に適しています。

開発中

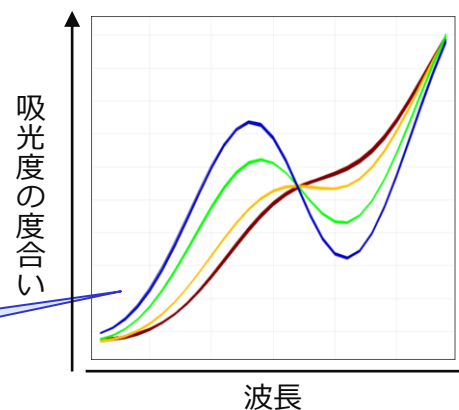
- **成分量分析**：非破壊で錠剤の成分量を検査します。
- **クロスコンタミネーションの防止**：異錠剤の混入を検出し、成分が異なる錠剤を排除します。
- **異物検査**：錠剤内部に混入した毛髪や虫などの有機由来の異物を検出できます。



混入した毛髪

主成分が高濃度なほど振幅が大きくなる

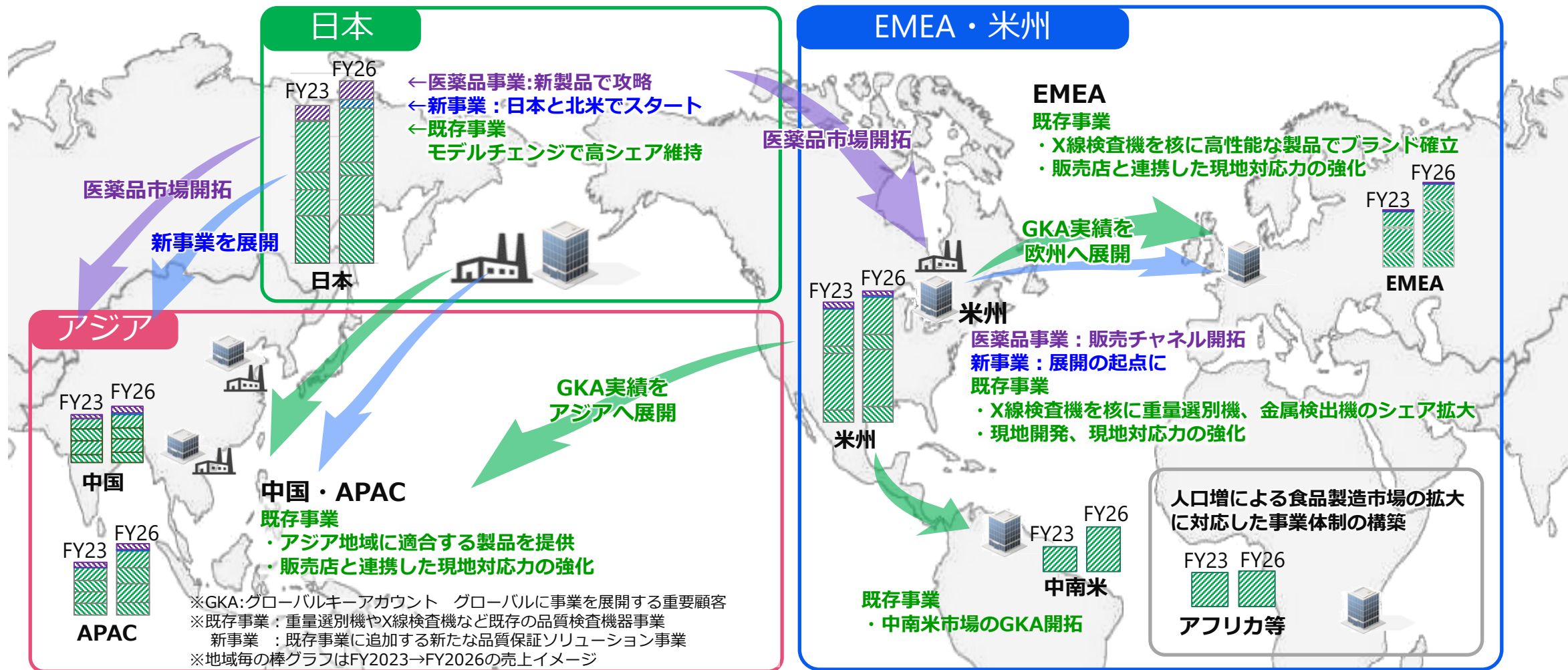
NIR吸収スペクトル測定
(データ処理後)



1-9. PQAの成長戦略

持続可能な未来に向けて、世界中のお客様から最も信頼される品質保証の First To Call カンパニーになる

- ▶お客様の課題を解決する独創的な品質保証ソリューションの創造
- ▶グローバル市場への事業拡大
- ▶医療・医薬品市場への事業拡大



1-10. PQA事業の成長ターゲット

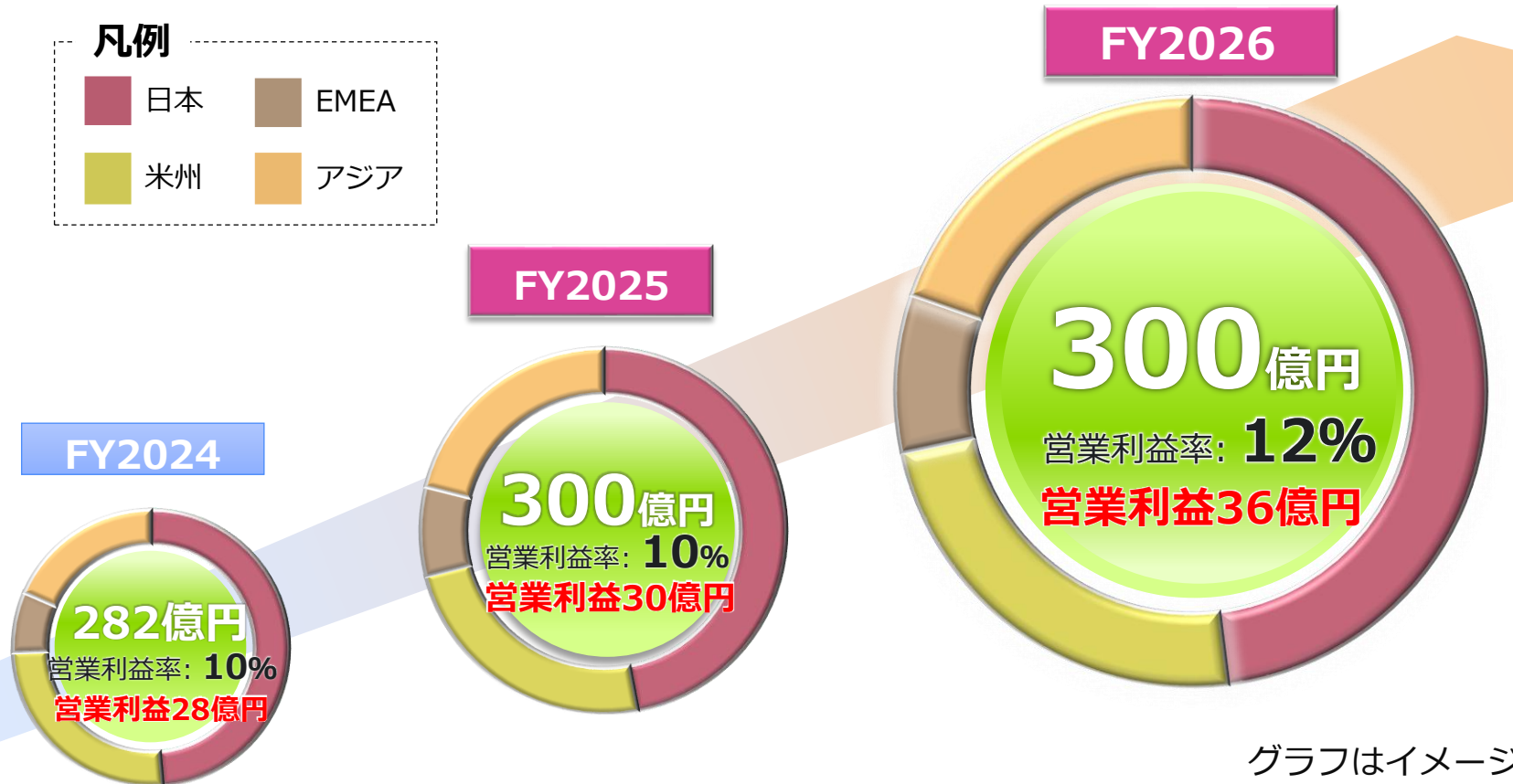
- ・顧客価値の高いソリューションの創出：
AIなど先端技術の獲得、生産ラインの自動化・省人化
- ・高付加価値領域への事業拡張：
人手に頼っている検査の自動化、医薬品製造市場
- ・強靱な利益体質の構築：
サプライチェーンのグローバル最適化、業務プロセス改革

FY2030

売上高 500億円

- ・食品や医薬品の品質保証をグローバルにサポート
- ・省人化で人手不足を軽減し、お客様の収益性向上に貢献
- ・品質向上による食品ロス低減

持続可能な未来に向けて、
世界中のお客様から
最も信頼される品質保証の
First to Call カンパニーになる



グラフはイメージ

2. 環境計測事業

安城 真哉

アンリツ株式会社

執行役員 環境計測カンパニープレジデント

パワー エレクトロニクス事業

電力制御技術とデータ計測技術で
脱炭素社会の実現を加速



EV/電池の性能向上と普及
EV評価プロセスの高度化
社会インフラのゼロエミッション

ネットワーク事業

高信頼性通信技術と映像監視技術で
安全・安心な未来を創る



社会インフラの監視業務や防災/減災
企業ネットワークの省人化/高度化対応

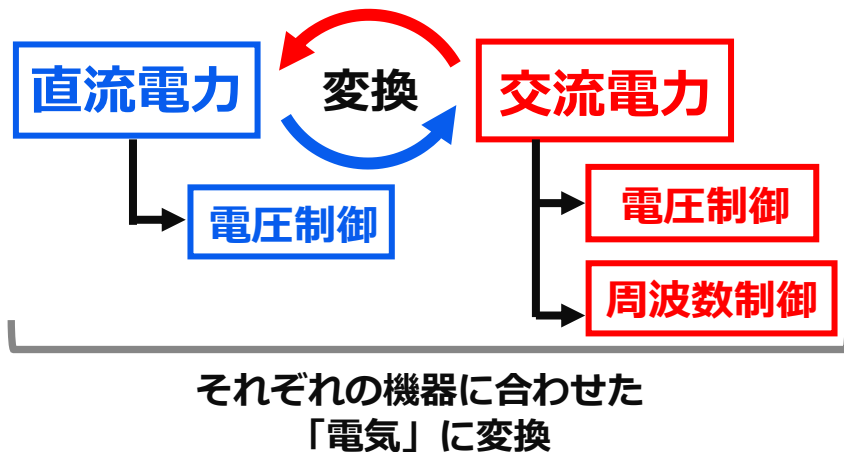
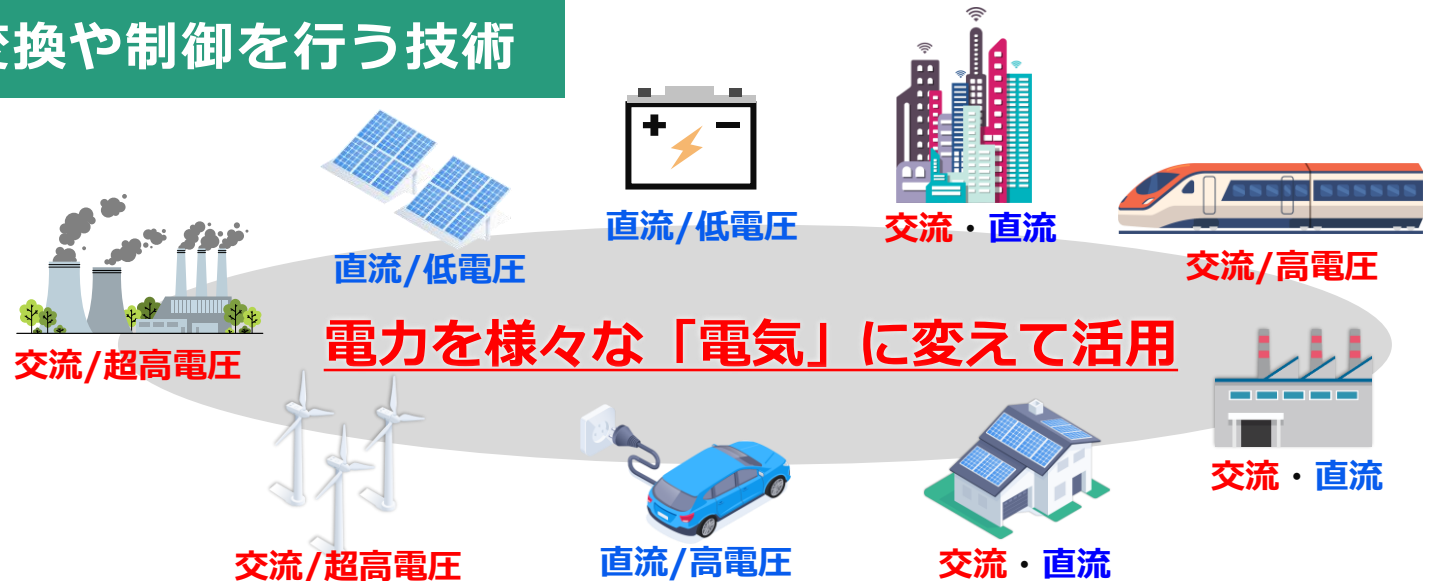
環境計測事業

電力制御・計測と情報通信の技術で安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献

EVをはじめとした電動モビリティの普及と性能向上、 再生可能エネルギー活用の拡大に貢献



パワーエレクトロニクス＝電力の変換や制御を行う技術



2-3. パワーエレクトロニクス事業：EV開発評価における用途

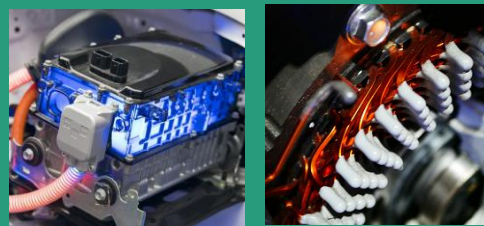
EVの安全性や性能の向上に欠かせない評価設備を供給

【電池模擬】



走行
⇄
回生

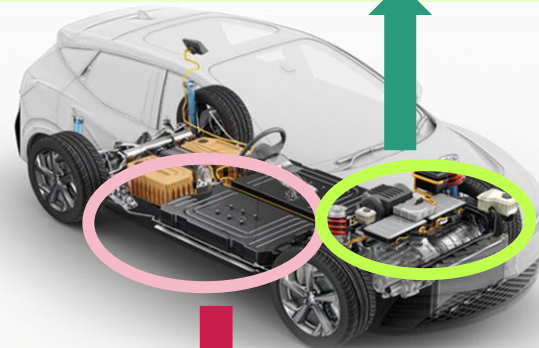
パワートレイン評価



- ◆ 電圧・電流
- ◆ 回転数,トルク
- ◆ ロータ位置
- ◆ 温度
- ◆ 振動, 騒音
- ◆ ねじれ, 歪み
- ◆ インバータ制御信号
- ⋮

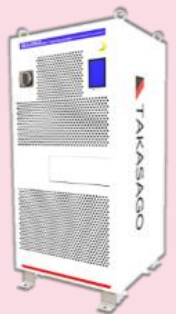


高砂製作所



DEWETRON

【走行/充電模擬】



放電
⇄
充電



電池評価

- ◆ 電圧・電流 (セル/モジュール)
- ◆ 温度(セル/モジュール/周囲)
- ◆ 振動, 騒音
- ◆ 絶縁抵抗
- ◆ バッテリー制御(BMS)信号
- ⋮



高砂製作所 高砂製作所（開発・販売）・鶴岡高砂製作所（製造）

エネルギーを制御する技術で電動モビリティ普及・性能向上に貢献

大電流・大電力を
高速に制御

**エミュレーション
電源技術**

電子負荷の熱を
電気エネルギーとして再生

**電力回生
技術**

MEDT
Mutual Energy Drive Technologies

電気エネルギーを双方向に制御する
世界最高水準のエネルギー制御技術

エネルギーの
移動を再現

**双方向電力
制御技術**

エネルギーの動きを
高精度に再現

**高精度デジタル
制御技術**



双方向直流電源



バッテリーエミュレーター



EVモーターエミュレーター

主な市場：EV/電池



DEWETRON

DEWETRON GmbH (オーストリア)

精密な電力測定技術で脱炭素・再生エネルギー・モビリティ・宇宙開発に貢献

<主力製品>

- ・ パワーアナライザ
- ・ データ収集システム

<特徴>

- ・ 高精度な電力測定技術
- ・ 柔軟なデータ収集・解析ソフトウェア
- ・ 幅広い産業対応とグローバル実績

主な市場：自動車・航空宇宙・再生可能エネルギー



NASA Artemis計画で表彰

- **地上計測ユニット（Ground Instrumentation Units）**
 - 発射場の環境（熱、圧力、振動、ひずみなど）をリアルタイムでモニター
 - 機体統合時や打ち切り装置（Launch Abort System: LAS）の張力調整時の構造解析
 - Orion宇宙船の**モーダル試験**にも利用
- **電氣的地上支援装置（Electrical Ground Support Equipment）**
 - Orion宇宙船の Development Flight Instrumentation（DFI）を監視・試験
 - 乗組員の安全と機体の健全性に関わる重要フライトデータの収集に貢献



DEWETRONの技術は、航空宇宙分野のみならず、自動車・エネルギー・産業機器など幅広い分野で応用可能です

アルテミス計画とは（JAXAホームページより）

米国主導の国際協力体制のもとで、アポロ計画以来の月面への有人着陸および長期滞在を通じた持続的な月探査を目的としたプログラム



【ターゲット市場】

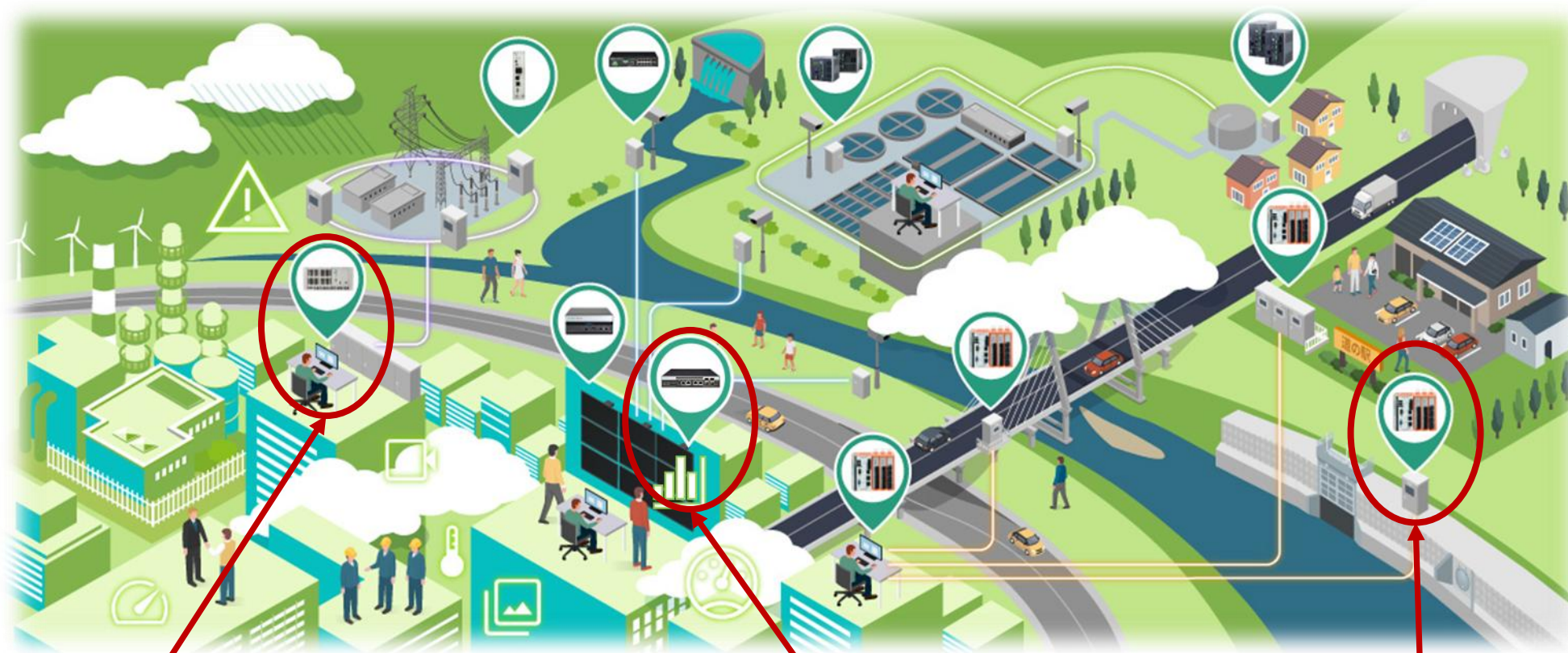
- EV・電池
- 航空・宇宙
- 脱炭素化



高砂製作所/DEWETRON社とのシナジー創出による市場開拓の加速

- **顧客基盤の活用:** アンリツ・高砂製作所の顧客基盤を活用したDEWETRONビジネスの日本市場開拓
- **事業基盤の活用:** アンリツとDEWETRONのグローバル基盤を活用した高砂電源ビジネスの海外展開
- **付加価値の創出:** 高砂電源とDEWETRON (パワーアナライザ/DAQ)を組み合わせたソリューションの展開

社会インフラを支える“つなぐ”技術で安全・安心な未来へ



設備の高度化・IP化



セキュリティ強化



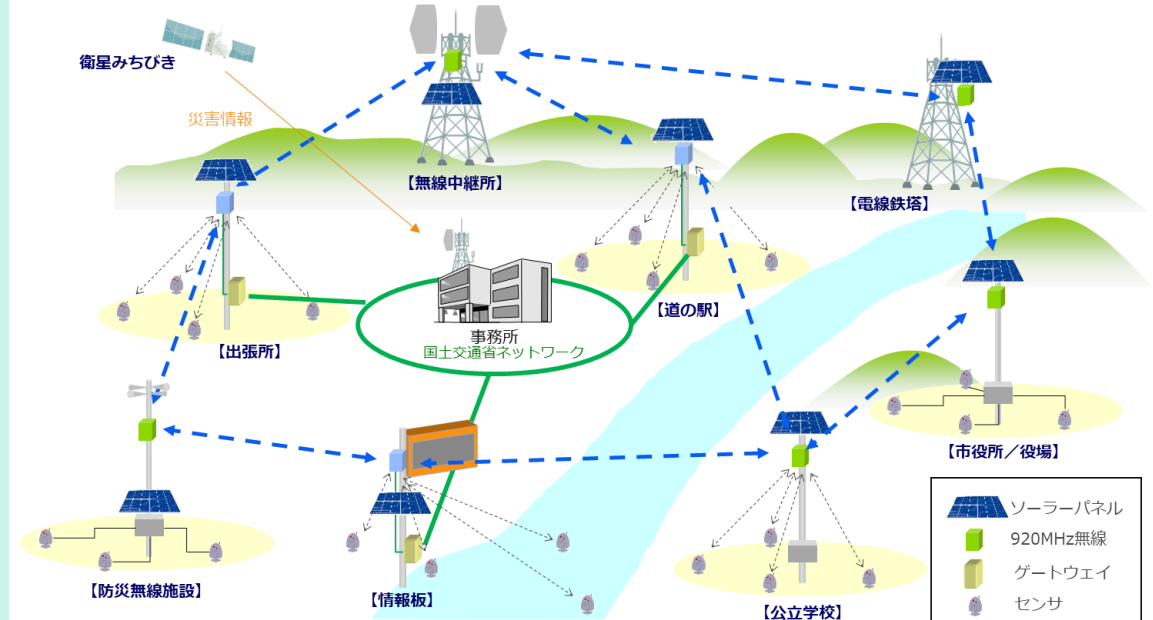
監視業務の効率化



人々の生活を守る社会インフラの高度化・効率化を支援し、 災害に強い街づくりに貢献



IPマイグレーションの
リーディングカンパニーへ

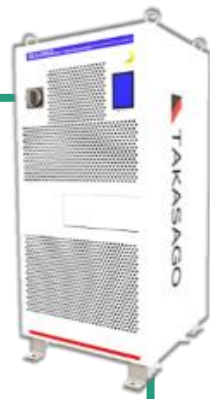


センサネットワークシステムの
研究開発

開発効率向上への貢献

高砂製作所の強み

- ・ 高速・高精度の双方向電力制御
- ・ 必要な電圧・電流を直並列連動で容易に構築



DEWETRONの強み

- ・ 高速リアルタイム同期データ収集・分析
- ・ 精密パワー計測とセンサデータの同期取得
- ・ 豊富な解析アプリケーションとエンジニアリング



パワー
エミュレーション



モデル
シミュレーション



同期計測



EV開発効率向上を
実現する新たな
ソリューション

車の動きや道路状況
などを仮想の形で作り、
コンピュータ上で試す



Vehicle



Road
Pattern

- ・ コスト削減
- ・ 時間短縮
- ・ リスク低減

パワーエレクトロニクス技術を活用し電力をより賢く効率的に使う時代へ

サステナブルな電力消費

- ・ 再生可能エネルギー等多様な電源の活用
- ・ 余剰電力を貯蔵して必要な時に使用
- ・ 効率的な電力変換技術の開発・普及

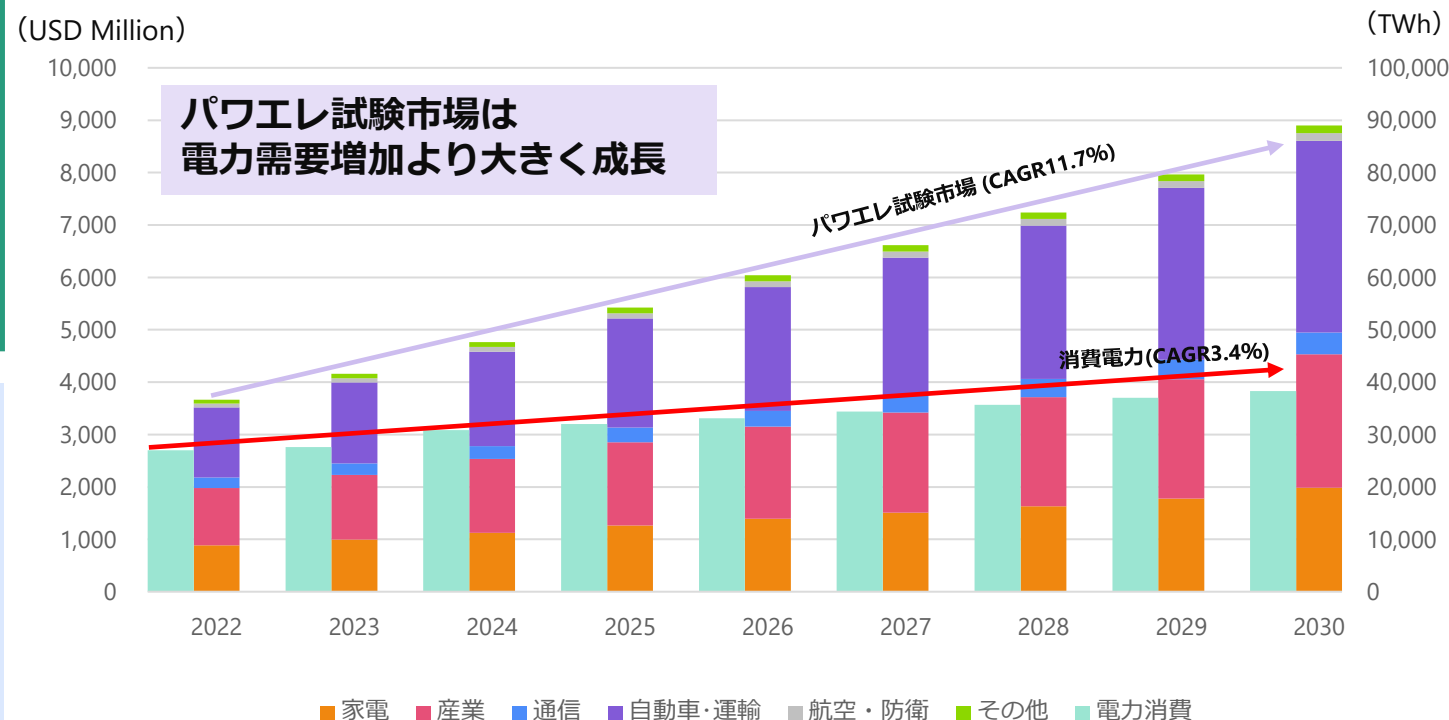
継続的な電力消費の増加

- ・ 生成AIの普及・拡大によるサーバの増加
- ・ 自動車を中心とした電動モビリティの増加
- ・ アジアをはじめとした中興地域の電化

■ パワーエレクトロニクス技術の活用

EV以外の様々な分野でも、パワーエレクトロニクス機器の評価需要が高まる

パワーエレクトロニクス市場の需要予測と電力消費量の推移



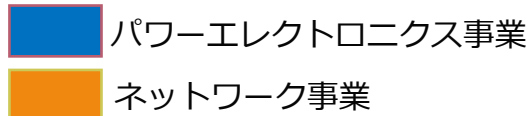
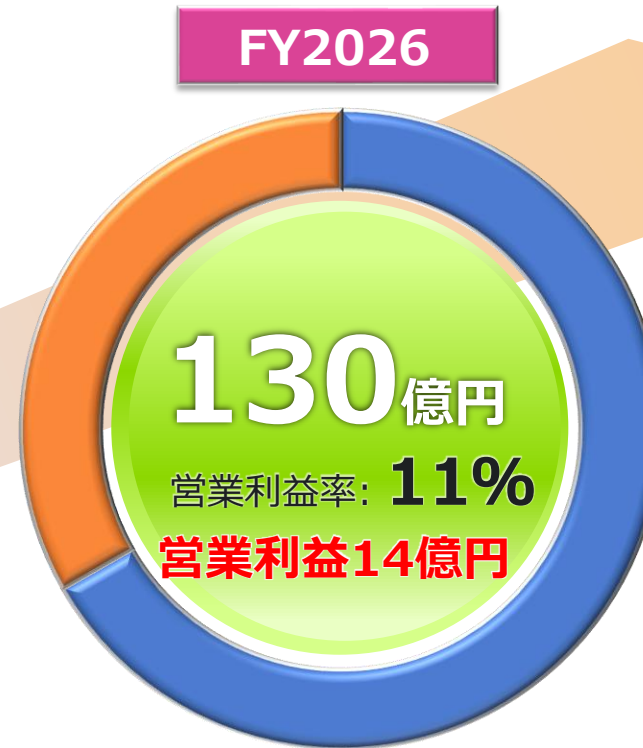
出展: Markets & Markets / IEA World Energy Outlook 2024、
公開資料をもとに当社作成

2-12. 環境計測事業の成長ターゲット

- ・グローバルな事業展開の加速
- ・高砂製作所/DEWETRON社とのシナジー創出による市場開拓の加速
- ・パワーエレクトロニクス分野でのリーディングカンパニーを目指す

FY2030

凡例



売上高 300億円

- ・ 災害に強い街づくりへの貢献
- ・ 発展するものづくりへの貢献
- ・ モビリティ電動化への貢献
- ・ 再エネ活用拡大への貢献

グローバルで活躍する
パワーエレクトロニクス
企業として持続可能な
社会の実現に貢献

グラフはイメージ

3. 通信計測事業

島 岳史

アンリツ株式会社

取締役 常務執行役員

通信計測カンパニープレジデント

3-1. 事業概要

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ◆ モバイル市場 : 5G/6G、5G利活用
- ◆ ネットワーク・インフラ市場 : データセンター、光/無線NW
- ◆ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備、研究開発



PQA事業

食と医薬品の安全・安心

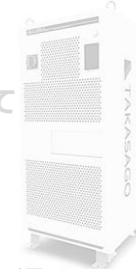
- ・ 食品検査市場
- ・ 医薬品検査市場



環境計測事業

脱炭素社会を目指して

- ・ EV/電池市場
- ・ 社会インフラIT市場



その他



- ・ センシング & デバイス
- ・ その他

(セグメント別売上比率)

2025年3月期 実績 (連結) : 1,130億円

通信計測 62%			PQA 25%	環境計測 8%	その他 5%
モバイル 43%	ネットワーク・インフラ 39%	エレクトロニクス 18%			

2026年3月期 (4-9月) 実績 (連結) : 517億円

通信計測 60%			PQA 28%	環境計測 6%	その他 6%
モバイル 43%	ネットワーク・インフラ 34%	エレクトロニクス 23%			

(通信計測事業 地域別売上比率)

2025年3月期 実績

日本 16%	アジア他 38%	米州 28%	EMEA 18%
--------	----------	--------	----------

2026年3月期 (4-9月) 実績

日本 16%	アジア他 38%	米州 26%	EMEA 20%
--------	----------	--------	----------

ビジョン

高品質で信頼性の高い通信テストソリューション、シミュレーションやサービスといった「はかるを超える」付加価値を提供し、DXの発展に貢献する。

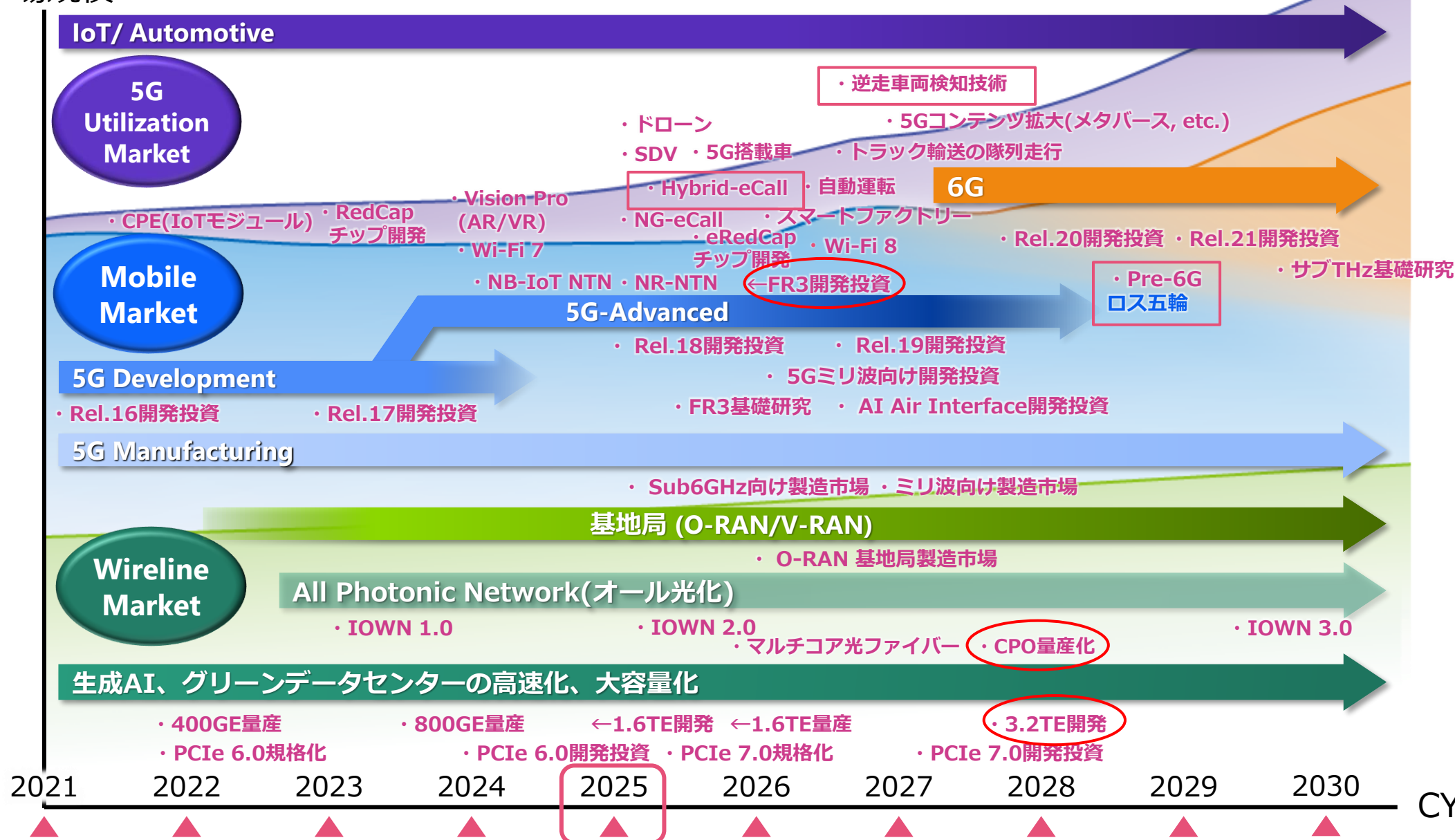
通信の信頼性を上げることで社会の安全・安心を実現する。

計画達成に向けた方針

- ▶ 通信事業者、グローバルなデバイス・インフラベンダ、自動車関連ベンダに6G(サブテラヘルツ)、800GE/1.6TE、デジタルコヒーレント、テストとシミュレーションの高品質なソリューションを提供し、通信の安全・安心が担保できる社会基盤作りに貢献する
- ▶ 実環境での通信品質向上のための検証技術を世界に先駆けて確立する
- ▶ 6Gなどの次世代技術への投資を増大させる

3-3. 通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模



主要市場とその概要

市場	テクノロジー	概況
 5G Utilization Market 自動車 ----- スマートフォンへの付加価値 NTN, WLAN	NG-eCall: 4G → 5G (Hybrid eCall)	<ul style="list-style-type: none"> 24年以降全新車に4G/5GのTCU装備 欧州では26年1月からNG-eCall対応義務化
	NB-IoT NTN→NR NTN Wi-Fi 7 → Wi-Fi 8	<ul style="list-style-type: none"> SBMとNTTドコモ26年後半からHAPS開始 主要ハイエンドスマホはWi-Fi 7対応済
 Mobile Market 6G (アッパーミッドバンド)	7～15GHz帯 (FR3の一部)	<ul style="list-style-type: none"> グローバルでの統一は7.125 – 8.4 GHz 最初のチップセットが28年頃製品化か
 Wireline Market データセンター	800GE → 1.6TE CPO (Co-Packaged Optics)	<ul style="list-style-type: none"> 1.6TE光トランシーバー製造立ち上がり Broadcomに続きNVIDIAが25年にCPO製品化
汎用無線(産業計測)	3～30GHz以上の周波数帯	<ul style="list-style-type: none"> 衛星通信を始め各種通信サービスの多様化 干渉波試験や部品などのノイズ試験

地域	市場	概況
インド・東南アジア	半導体、通信デバイス、自動車	<ul style="list-style-type: none"> FDI増加。現在は製造メイン、今後は開発も

3-5. データセンターに向けた取り組み

光デバイス/光トランシーバー、セミコンダクタ

光トランシーバー製造評価/CPO光波形評価

4ch同時測定で効率化、

400/800GE ⇒ 1.6TEモジュール評価に対応 **New**

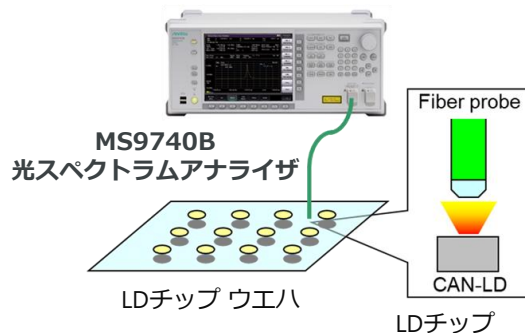


MP2110A BERTWave



1.6TE光トランシーバー

光トランシーバー/CPO向けLD評価



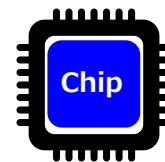
サーバー内のデバイス/モジュール評価

PCIe G5, G6デバイス性能マージン評価



シグナル クオリティ
アナライザ MP1900A

PCI-Express
Gen5/Gen6信号



xPU, ASIC

シリコンフォトニクス/デバイス チップ評価

E/O, O/Eの組合せで、110GHz帯域までの電気/光、光/電気、電気/電気
デバイス評価に対応

MN4775A
E/O Converter



ME7848A
Opto-Electronic
Network Analyzer



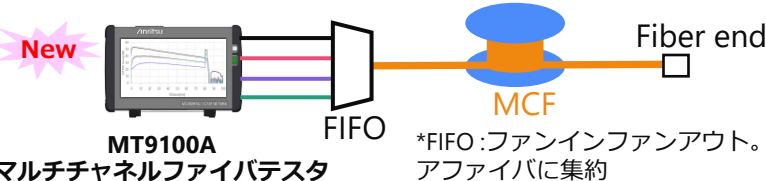
Optical Probe Station

MN4765B
O/E Calibration Module

光海底ケーブル

マルチコアファイバ(MCF)の品質、製造性評価

4コア一括測定で効率化、コア間クロストーク測定、破断点特定



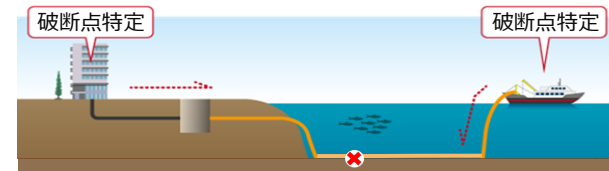
マルチチャンネルファイバテスタ

*FIFO: ファンインファンアウト。それぞれのファイバを1つのマルチコアファイバに集約

光海底ケーブル敷設、保守

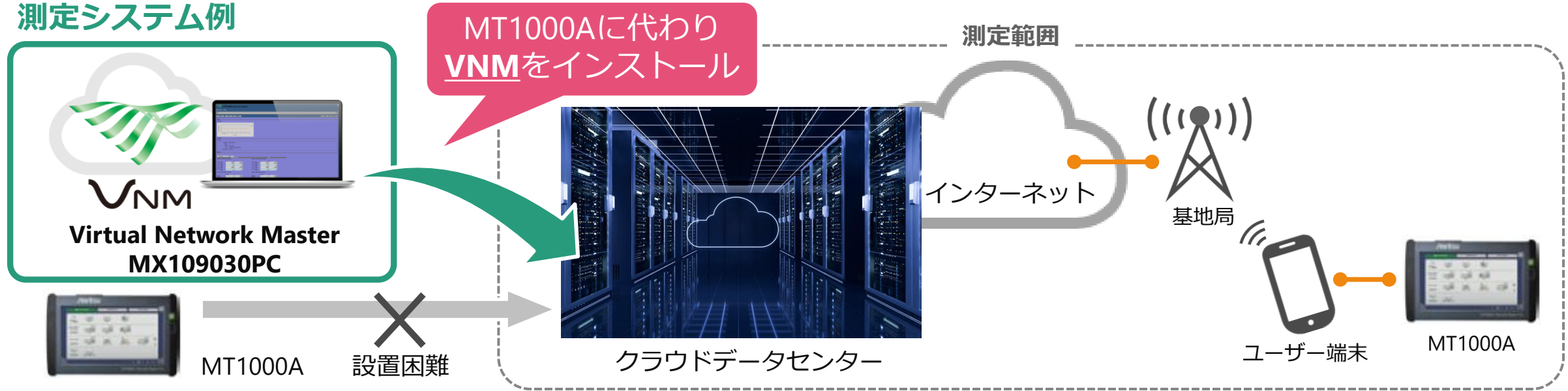


MW910010B
コヒーレントOTDR



エンド・ツー・エンド通信品質の評価用ソフトウェアソリューション

■ 測定システム例



■ 特長

- クラウドサーバー側にMT1000Aの設置が困難なクラウド環境下でも、ソフトウェアベースの試験ソリューションによりリアルタイムの通信品質評価を実現
- 外部PCにて、Virtual Network Masterを制御、各種測定の設定と結果表示・出力が可能

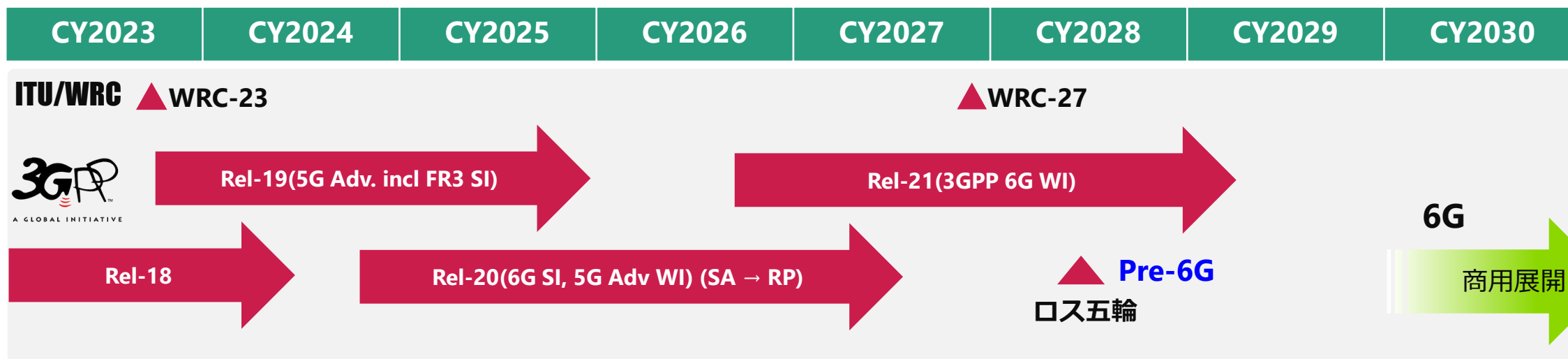
■ 主な測定項目

- 通信品質： 遅延時間、フレームロス、パケットジッタなど

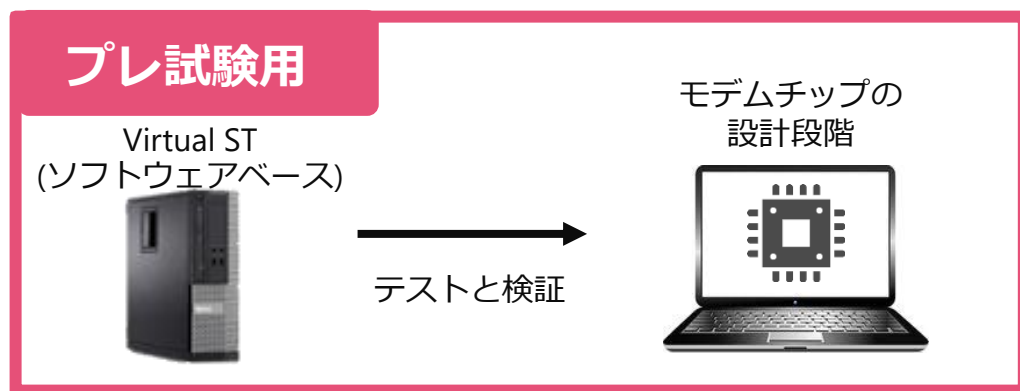
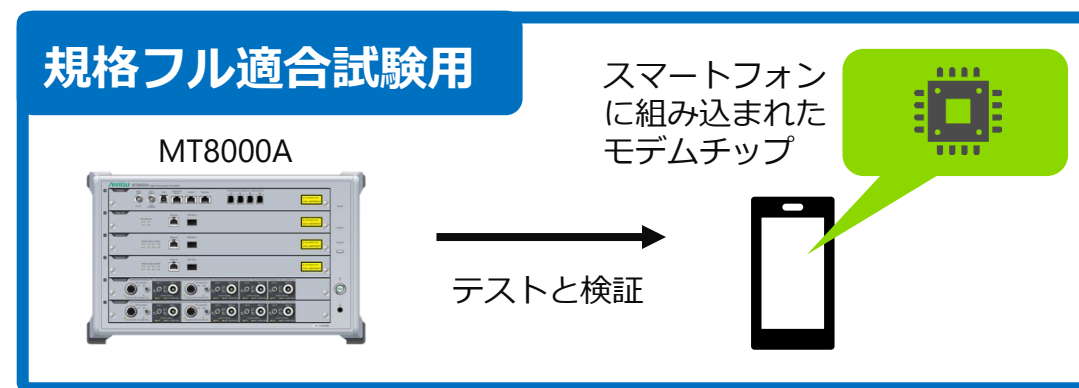
■ 対象市場

データセンター、オールフォトニクスネットワーク、モバイルネットワーク、NTN（非地上系ネットワーク）、自動車・モビリティ、医療など

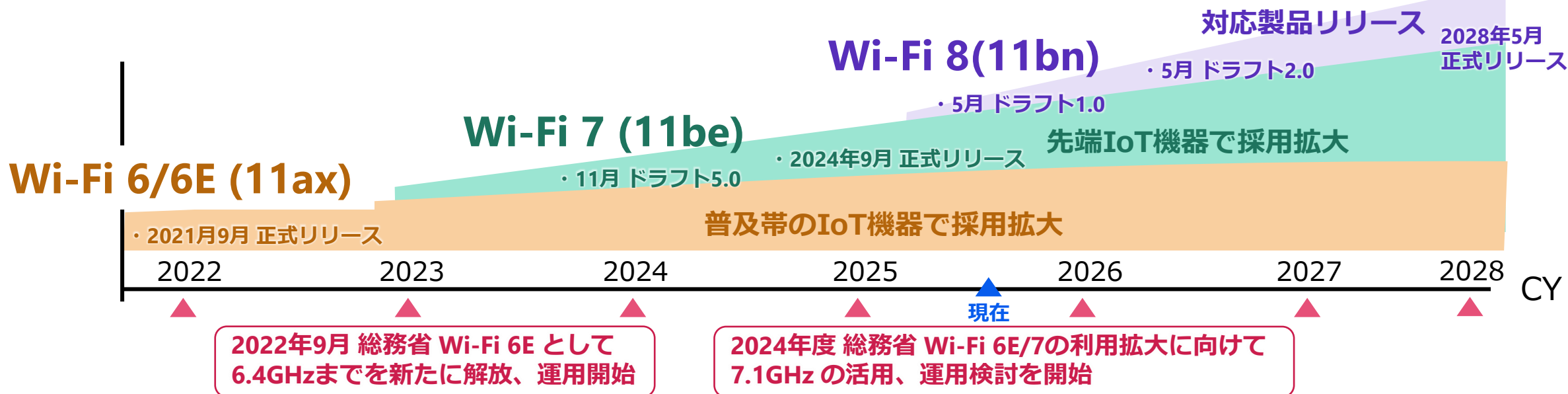
3-7. 6Gのロードマップと対応ソリューション



- 3GPP Rel-20 : 6G SI(Study Item)などの検討項目を明確化。2027年半ば頃まで継続予定
- WRC-27 : 周波数に関する国際会議。2027年11月頃開催予定。6G向け周波数が明確化
- 3GPP Rel-21 : 6Gとしての最初のSpecとなる見込み。2029年3月以降のリリース



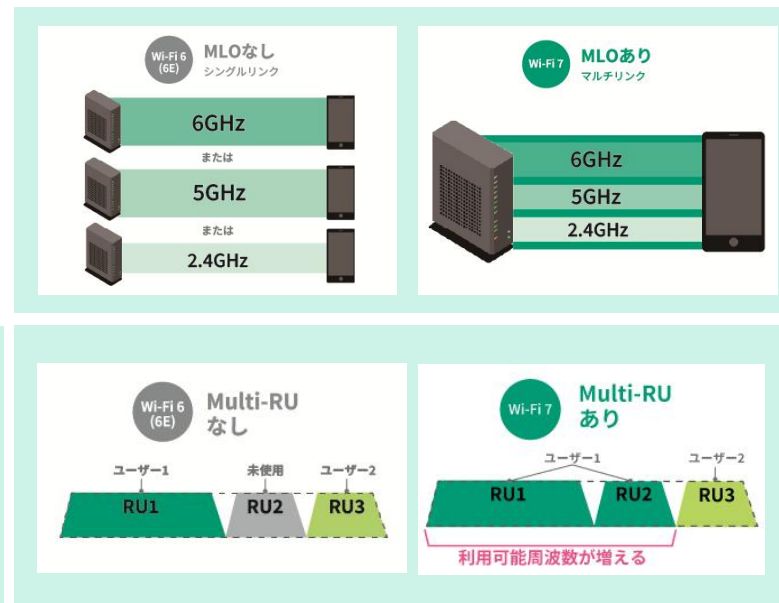
3-8. IEEE 802.11 無線LANの規格動向



ワイヤレスコネクティビティ
テストセット MT8862A

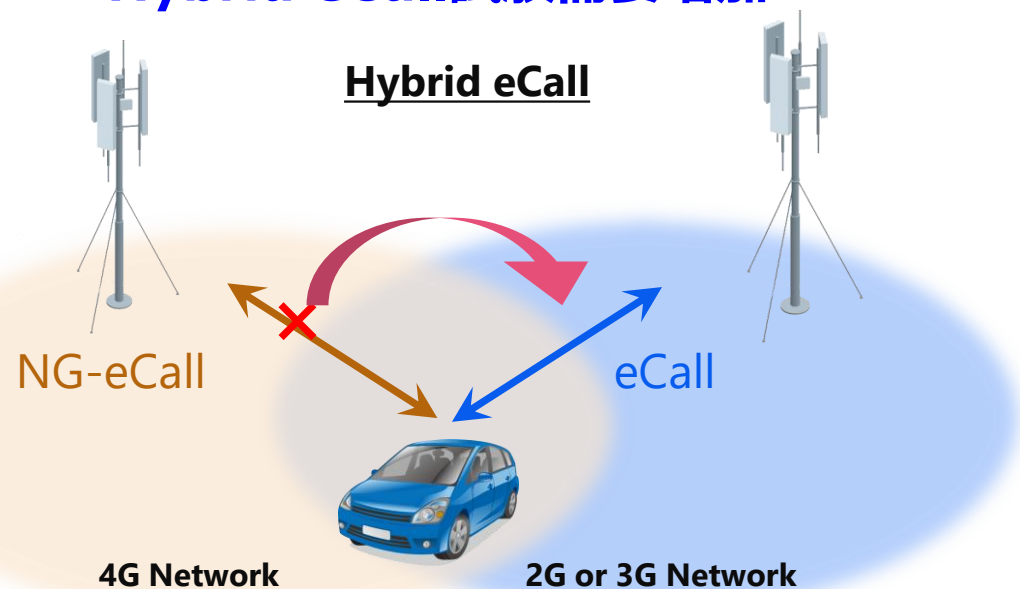
WiFi 7で大きく進化

(ハイエンドスマホで対応)



3-9. オートモーティブ市場について

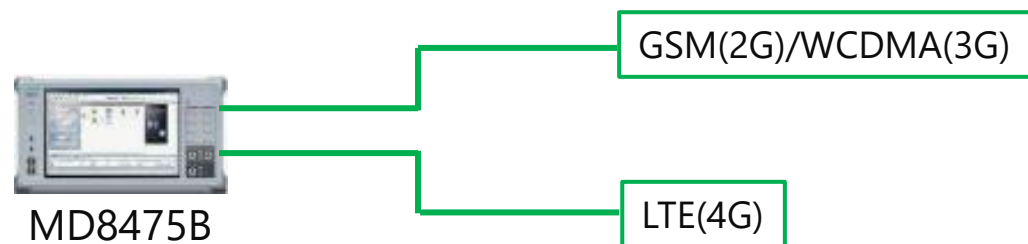
欧州での2G/3G停波延伸に伴い
Hybrid eCall試験需要増加



2026年からCESに出展



アンリツの自動車関連ソリューションを全て展示

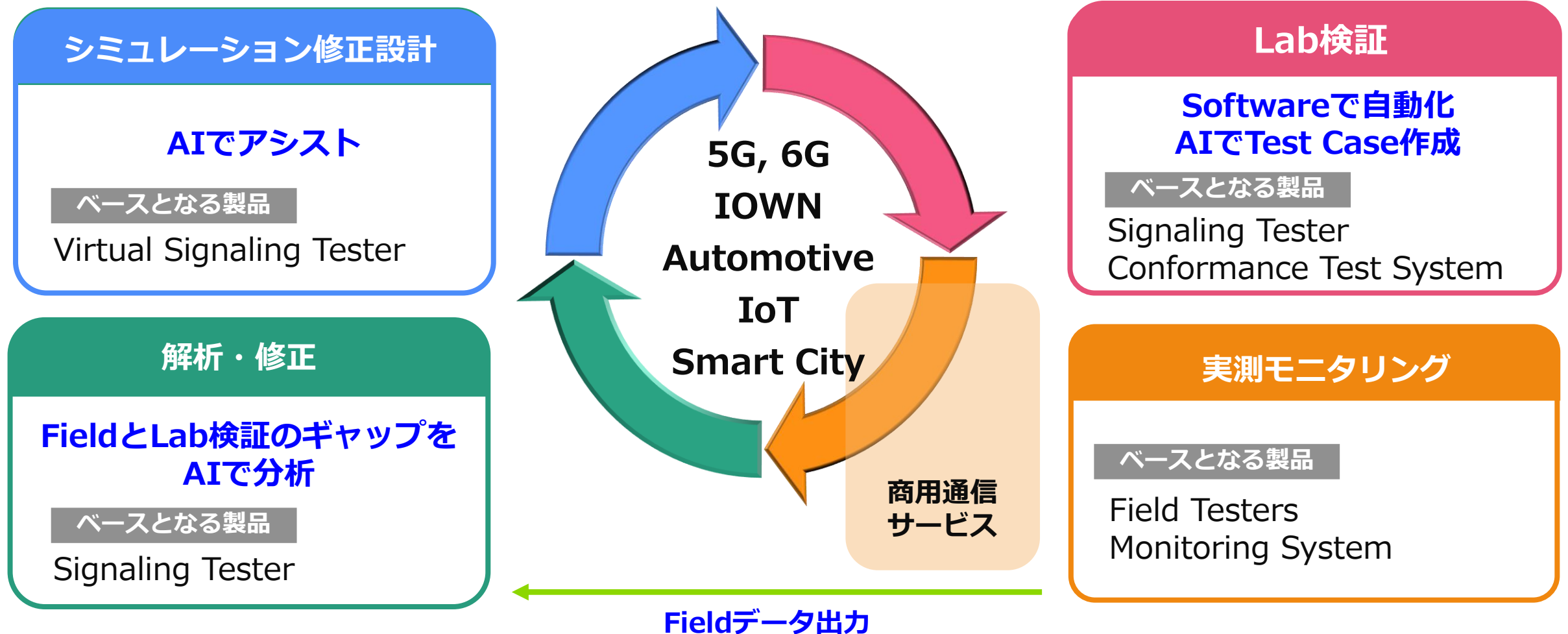


1台で正常系と異常系の試験を自動で行う



3-10. 2030年に向けたソリューション展開

- 「はかる」を超える新しいソリューションで高付加価値を生み出す → 切れない安全・安心
- Wireless & Wiredのワンストップソリューション → オリジナル & ハイレベルの循環型



3-11. 通信計測事業の成長ターゲット

- ・生成AIによるネットワーク高速化（800GE、1.6TE）需要を獲得
- ・ソフトウェアビジネスを拡大し営業利益を改善
- ・高周波帯向け通信計測器ラインナップの拡充とそれらに携わる技術体制の拡充（人材への投資）

FY2030

売上高 1,100億円

- ・ 6Gへ向けた取組
- ・ データセンターのさらなる発展
- ・ 完全自動運転の実用化
- ・ ソリューションビジネスの増加

通信の安全・安心を担保し、ビジネスモデルの変革を通じて、安定成長事業の実現を目指す

